セミナー「“国民国家”インドネシア再考」

南山大学外国語学部アジア学科主催、南山大学アジア・太平洋研究センター／科研 C「植民地末期インドネシア・ムスリムの国際関係認識」／東南アジア学会中部例会共催
於　南山大学名古屋キャンパス Q51・52 会議室

3 月 17 日
13：00　開会
趣旨説明　小林寧子（南山大学教授）

第 1 セッション：「国民国家」をめぐる思索　司会：貞好康志（神戸大学教授）
13：10－13：15
趣旨説明　小林寧子
13：15－14：00
「イスラームとナショナリズム：『ビンタン・イスラーム』(1923-1930)を読み解く」
小林寧子
14：00―14：45
「オランダ植民地末期ナフダトゥル・ウラマーによる　“イスラーム国家論”」
山口元樹（東洋文庫研究員）
小休憩
14：50－15：35
「ナショナルヒストリーと“国民”の創出：
日本占領期インドネシアで刊行された歴史書を手掛かりに」
姫本由美子（立教大学アジア地域研究所特任研究員）
15：35―16：20
討論
コメント　青山　亨（東京外国語大学教授）

16：30―17：50
特別講演
"Local, national and transnational Islam in Indonesian history"
Dr. Martin van Bruinessen（ユトレヒト大学名誉教授）

18：00―　懇親会
於　ザ・カフェ
参加費 3,500 円

3 月 18 日

第 2 セッション：独立後国家建設の混乱　司会：間瀬朋子（南山大学准教授）
9：30―9：35
趣旨説明　小林寧子

9：35―10：20

「スカルノが描いた〈建設（プンバングナン）〉の夢：1950 年代後半～1960 年代半ば」

加藤 剛（京都大学名誉教授）

10：20―11：05

「マフィリンド構想の挫折とボルネオ分断：旧ブルンガン王国の経験から」

奥島美夏（天理大学准教授）

小休憩

11：10―11：55

「“楽園”に潜む対立の歴史：バリ島ジェンブラナにおける 1965 年の虐殺」

倉沢愛子（慶応義塾大学名誉教授）

11：55－12：40

討論

コメント　岡本正明（京都大学教授）

昼食休憩

第 3 セッション：インドネシア華人史の再構築　司会：森山幹弘（南山大学教授）

13：50―13：55

趣旨説明：津田浩司

13：55―14：40

「客家系商人とアジア域内貿易」　工藤裕子（東洋文庫研究員）

14：40―15：25

「『共栄報』と日本軍政下の華僑社会」　津田浩司（東京大学准教授）

小休憩

15：30―16：15

「インドネシアの華人理解の特色：
　インドネシア出身の中国・華人研究者への聞き取りに基づく考察」

松村智雄（法政大学講師）

16：15―17：00

討論

コメント　貞好康志（神戸大学教授）

小休憩

17：10―17：30

総括コメント

青山 亨

岡本正明

17：30　閉会